

地域医療連携室の  
ご案内

私たちがお手伝いさせていただきます。  
何なりとご相談ください。

これからの時代は、〈連携〉が鍵を握る時代です。  
当院では、在宅医療・介護を担う皆さまとの窓口として、  
地域医療連携室を設置し、スムーズな連携をめざしています。



地域医療連携室長  
看護副部長

**辻 美恵子**  
Tuji Mieko  
地域からのご依頼はすべてをお受けし、院内各部署に情報発信。患者さんご家族に寄り添いしっかりとご支援します。



地域医療連携室主任

**毛利 浩秋**  
Mouri Hiroaki  
私たちは、連携での縁の下での力持ち。電話やFAXの対応、必要な書類の整備など、円滑な連携を支えています。



地域医療連携室  
医療ソーシャルワーカー

**寺前 知子**  
Teramae Tomoko  
何でも私たちにお話ください。緩衝役となり、医師や看護師に適切に繋ぎ、迅速な受け入れに努めていきます。

在宅療養支援機能のご利用方法

▶ ご相談ダイヤル

当院では在宅医療・介護に携わる皆さまと連携し、在宅療養を強力にバックアップいたします。まずは、どんなことでもけっこうですので、地域医療連携室にご連絡ください。

直通電話 **0568-21-1732**  
平日 9:00~16:30 土曜 9:00~13:00

入院受け入れについて

当院ではかかりつけの先生方が在宅加療されている患者さま(原則として種々の「在宅療養指導管理料」を算定されている患者さん)が、状態悪化など急性期医療を必要とする場合に24時間体制で受け入れます。先生方の患者さまで、当院での急性増悪時の入院加療をあらかじめ希望された場合、上記電話番号にて「後方支援の登録依頼」の旨をお伝えください。なお、先生方と当院の間で、3カ月に1回程度、登録した患者さまの診療情報を交換し、共有します。詳しくは当院のホームページをご覧ください。

<http://www.saishukan.com/medical/renkei.htm#shien>

地域の先生方とコミュニケーションを深める  
専用サイトシステムをご用意します。

当院では、地域の医療・介護・福祉を担う皆さまとの連携強化を図るために、新しいコミュニケーションシステムを開発しています。完成次第またご案内をさせていただきますので、是非皆さまの活動にお役立てください。

▶ [http://as-ww.com/saishukan\\_btob/cat03/pg01/](http://as-ww.com/saishukan_btob/cat03/pg01/)



在宅医療・介護に携わる皆さまへ

安心の  
療養生活の  
そばにいつも  
済衆館病院が  
あります。



在宅療養後方支援病院として、  
24時間365日の在宅療養を支えます。

医療法人済衆館  
済衆館病院



# いざというときも、安心。 在宅療養中のさまざまな入院ニーズに 24時間365日お応えします。

地域医療の提供体制が「病院から在宅へ」シフトするなか、  
これからは病院も積極的に在宅医療に関わっていくことが大切です。  
私たちは安心の療養生活にいちばん近い病院として、  
当院の入院医療機能を療養中の患者さまに積極的にご利用いただいています。

## 1 容態の急変に 24時間対応

肺炎、脱水、呼吸不全など、療養中の急変に24時間365日対応します。

在宅療養している方で、とくに高齢の方は身体機能が低下しているため、ささいなことがきっかけで身体状態が急変します。たとえば、高齢者に多い誤嚥性肺炎、夏場の熱中症・脱水症、冬に多いノロウイルス性急性胃腸炎、あるいは持病が急性増悪することもあります。そうしたさまざまな急変症状に、私たちは24時間365日対応。救急外来で必要な検査、診断をした上で、一般病棟や地域包括ケア病棟などに入院していただき、適切な治療を受けていただきます。



## 2 がんの 疼痛コントロール

がん患者さまの疼痛緩和を目的とした入院を受け入れます。

普段の生活を送しながら治療を続けたい、という考えから、在宅で療養するがん患者さまが増えてきました。しかし、がんが進行すると、痛みが強くなり、在宅医療チームだけでは対処できないケースもあります。そうした場合に一時的に入院していただけるように、当院では緩和ケア病棟を用意しています。ここでは、医師、薬剤師、癌性疼痛看護認定看護師、臨床心理士、理学療法士、MSWなどから成る緩和ケアチームが、心身の痛みを軽減するよう働きかけます。



## 3 レスパイト 入院

ご家族の休憩や旅行、冠婚葬祭などの際に、患者さまの入院を受け入れます。

在宅療養中の切実な問題として、ご家族の肉体的、精神的疲労があります。時間拘束のストレス、夜間の介助による睡眠不足など、介護の負担は多岐にわたります。とくに高齢夫婦の老老介護においては、ご家族に過度のストレスがかからないよう、周囲からきめ細かくサポートすることが重要です。当院では、そうしたご家族の休息を目的としたレスパイト入院を積極的に受け入れ、患者さまとご家族が住み慣れたわが家で無理せず在宅療養を続けられるようお手伝いします。



## 4 在宅主治医の 負担軽減

かかりつけの先生のご依頼で、必要に応じて患者さまの入院を受け入れます。

在宅療養中は、ご家族はもちろん、かかりつけの先生の負担軽減も重要な課題になります。とくに診療所に先生お一人の場合、緊急往診が増えたり、看取りの患者さまが重なれば、健全に在宅療養を続けられませんが、そのような先生方の負担をサポートするために、当院では必要に応じて在宅療養中の患者さまの入院を受け入れています。たとえば、夏冬の休暇、学会出張など、先生がご不在の場合の受け皿として、当院の入院ベッドをご利用いただけます。



## 5 症状が進んだ場合の 受け入れ

症状が進行した患者さまの長期入院を受け入れることもできます。

患者さまの症状が進行し、ご家族の介護や在宅医療チームのサポートだけでは対処できなくなった場合も、当院が最後の砦としての役割を果たします。当院では、長期にわたり療養を必要とする患者さまのために、96床の療養病床をご用意。長期的に患者さまをお預かりし、必要な医療と看護を提供します。また、患者さまの症状が安定し、在宅での療養環境が整いましたら、再びご自宅に戻って在宅療養を続けていただくことができます。



在宅療養患者さまを  
受け入れる  
療養環境

# 患者さまの疾患や 状態に適した療養環境を すべてご用意できます。

私たちがめざすのは、病期を問わず、一貫した質の高い医療サービスを提供する「スーパーケアミックス病院」です。急性期から回復期、慢性期、緩和ケアまで、すべての病棟を整備し、ご紹介の患者さまに最適な療養環境をご用意します。

## 一般病棟

(本館3階・51床/本館4階・57床)

幅広い年齢層、疾患の患者さまを対象に綿密な全身管理を行い、早期離床をめざしています。

看護科長 池林明美 (本館3階) 看護科長 小嶋里美 (本館4階)

当院は尾張中部医療圏で希少な二次救急病院として、24時間対応で救急搬送を受け入れています。一般病棟(本館3階:外科系、本館4階:内科系)ではそうした緊急の患者さまや、検査や手術のために入院した患者さまを対象に、専門的な医療と濃密なケアを提供しています。入院し

ている患者さまは、0歳から100歳以上と、年齢層の幅も広く、主疾患も多岐にわたります。私たちは一人ひとりの状態に合わせ、安全・安楽な看護を心がけるとともに、患者さまを確実に次のステージに送り出せるよう、早期離床・早期回復に向けたチーム医療を実践しています。



## 地域包括ケア病棟

(東館3階・48床)

在宅療養中に急性増悪した患者さまを受け入れるほかレスパイト入院にもフレキシブルに対応しています。

看護科長 河合なみ子

地域包括ケア病棟は、高度急性期を脱した患者さまや、在宅療養している患者さまを幅広く受け入れる病棟です。当院の特徴は急性期医療機能を担保しているところで、入院後、症状が悪化しても専門医がフォローできる強みがあります。看護においても、急性期の目線を持って患者さ

まの全身状態を細かく観察するとともに、ADLの維持・向上を心がけています。また、当病棟では、専従の医療相談員(MSW)が在宅医療チームの方々とのパイプ役を担い、きめ細かく情報共有を図りながら、患者さまが再び在宅に戻れるようサポートしています。



## 回復期リハビリテーション病棟 (東館4階・38床/西館3階・50床)

回復期リハビリテーション病棟では、医師や看護師、リハビリスタッフが緊密に連携し、患者さまの機能改善、生活復帰をめざしています。東館4階は主に整形外科、

西館3階は主に脳神経外科の患者さまを対象に、それぞれに専門性の高いケアを提供。患者さまの生きる意欲を引き出し、生活の場へ帰れるように支援しています。



## 緩和ケア病棟

(西館4階・20床)

療養中のがん患者さまの病状が悪化したときや、ご家族の負担軽減のための入院を受け入れています。

看護科長 高須真希

緩和ケア病棟は平成28年、尾張中部医療圏に初めて開設された、待望の病棟です。がん患者さまを対象に、身体的な痛みや脱水症状などを和らげるとともに、看護師が患者さま一人ひとりにじっくり時間をかけて寄り添い、精神的なケアに力を入れています。また、当病棟では、在宅療

養中のがん患者さまの一時的な入院を積極的に受け入れています。心身の痛みが辛いとき、ご家族の介護疲れを癒したいときなどに、当病棟をご利用ください。緩和ケアチームの多角的なアプローチにより、痛みをコントロールできたら、再び、在宅に帰っていただけます。



## 療養病棟

(東館2階・56床/西館2階・40床)

衆を濟う(人々をすくう)という思想を大切に、患者さまの長期療養の日々を支えています。

看護科長 野田登代美 (東館2階) 看護科長 横山まき (西館2階)

療養病棟は、「すべての患者さまを救う」という当院の思想を体現している、地域の最後の砦です。長期の医療管理を必要とし、在宅への復帰がむずかしい患者さまを受け入れ、それぞれの尊厳を大切にされた看護を実践。気管切開や経管栄養、透析などの医療管理とともに、生活リハビリ

を交えながら、日々の生活行為を介助しています。また、療養病棟のうち、西館2階には腎・透析センターが併設されており、入院透析の患者さまが多く入室しています。高齢などの理由で外来透析を続けられない方を受け入れることで、地域の透析患者さまを最後までお守りしています。



## 患者さまとご家族、そして 在宅医療チームの皆さまをさまざまな 角度からバックアップします。

患者さまが住みなれた地域で安心して暮らしていただけるように、  
当院は在宅医療・介護の領域にもネットワークを拡大。  
訪問看護ステーション、デイケア・デイサービス、  
ケアプランセンターなどを備え、在宅療養のバックアップに力を注いでいます。

### 01 訪問診療・訪問看護

医療依存度が高く、専門的な医療管理を  
必要とする患者さまを支えています。

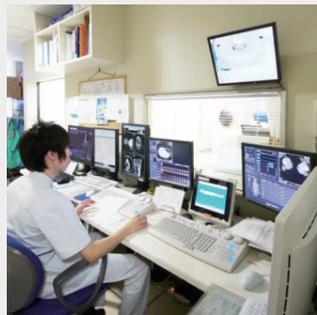
これからは在宅で療養する患者さまが増  
えていきます。しかし、在宅医療を担う、か  
かりつけ医の先生や訪問看護ステーショ  
ンは限られています。当院では、こうした  
皆さまの活動や在宅で療養する患者さ  
まを支援するために、訪問診療・訪問看  
護の分野にも少しずつ活動を広げていま  
す。訪問の対象としているのは、主に当  
院を退院した方で、医療依存度の高い  
患者さまです。地域の皆さまと協働し、退  
院後もずっと安心して生活できるようサ  
ポートしていきます。



### 02 スクリーニング検査

かかりつけの先生のご依頼に応じて、  
高度な検査を行います。

在宅療養中に高度な検査が必要になっ  
た場合、当院の検査機能をお使いいただ  
けます。当院では、320列マルチスライス  
CT撮影装置、1.5テスラMRI装置などの  
最新検査機器を完備。あらかじめ検査の  
ご予約をいただければ、患者さまは当院  
の外來診察を受ける必要はなく、検査の  
みを受けていただけます(内視鏡検査、睡  
眠ポリグラフィー検査のご依頼は外來受  
診をお願いします)。なお、検査結果や画  
像データと読影レポートは、後日、速やか  
に先生の元へお届けします。



### 03 専門医療・看護のご相談

在宅療養中のケア・ケアの課題を  
当院の職員と一緒に考えてさせていただきます。

当院は幅広い診療科を標榜し、臓器別  
専門医や経験豊富なコメディカルスタッ  
フを豊富に抱えています。そのマンパワー  
を活かし、さまざまなご相談にお応えし  
たいと考えています。たとえば、「医療用麻  
薬を含む鎮痛剤の処方」「褥瘡の予防  
やケア」「摂食・嚥下リハビリテーショ  
ン」など、在宅療養中に遭遇するさまざ  
な課題に、当院の医師、看護師、リハス  
タッフ、薬剤師、栄養士などが丁寧に対  
応し、一緒に解決策を探っていきます。



### 04 デイケア・デイサービス

療養中の身体機能の低下を防ぎ、  
自立した生活を送れるよう支えています。

当院では、西館1階にデイケア(短時間  
通所リハビリテーション)、東館1階にデイ  
サービスセンター「ムクの木」を開設し、  
在宅療養中の方々とそのご家族をサポー  
トしています。デイケアでは、専門のリハ  
スタッフが一ひとりが抱える生活上の  
問題点を把握し、日常生活動作の改善  
をお手伝いしています。また、デイサービ  
スセンターでは、季節感のある食事、入  
浴サービス、レクリエーションなどを提供  
し、利用者さまの笑顔を引き出すお手伝  
いをしています。



### 05 ケアプランセンター

これから在宅療養を始める患者さまとご家族を、  
トータルにサポートします。

当院では、退院が決まった患者さまとご  
家族がスムーズに療養生活を始められ  
るように、西館1階(地域医療連携室内)  
にケアプランセンターを開設。ケアマネ  
ジャーが最適な介護サービスを組み合わ  
せたケアプランの作成をお手伝いしてい  
ます。また、ケアプランセンターに隣接し、  
西名古屋医師会の在宅医療サポートセ  
ンター・中核センターがあることも当院の  
特徴です。医師会の方と当院の職員が  
連携し、在宅医療に関するご相談にト  
ータルにお応えしています。

